

主 題 設 定 について

研究主題 「豊かな言語力を基盤とした思考力・表現力の育成」

社会の変化が加速度を増す中で、これから学んでいく子どもたちが大人になる頃の社会の在り方を見据えながら、新しい時代に必要となる資質・能力をどのように育てていくのかという視点に立った教育活動の充実が求められている。

本校においても、『仲間とともに次代を拓け、神田っ子』の学校教育目標のもと、生きて働く“知識・技能”の習得、未知の状況にも対応できる“思考力・判断力・表現力等”の育成、学びを人生や社会に生かそうとする“学びに向かう力・人間性”の涵養を目指している。

本校の児童は、全国学力・学習状況調査等の結果から基礎的・基本的な事項は概ね身に付けていると考えられる。しかし、「自分の考えを理由や根拠を明確にしながら書くこと」や「文脈に沿って、正しい漢字を書くこと」などに、まだまだ課題があることも明らかになっている。このことから、思考力や表現力を育てる研究を進めていくことが、児童の「生きる力」の育成につながると思う。また、思考し表現する力の基盤となるのが言語力であり、各教科等において言語活動の充実が不可欠である。さらに、言語は論理的思考だけではなく、コミュニケーションや感性・情緒の基盤でもあり、豊かな心を育むうえでも、言語に関する能力を高めていくことが求められている。

そこで、研究主題を「豊かな言語力を基盤とした思考力・表現力の育成」と設定し、研究を続けてきている。これまで本校では、児童の学びは「人とのかかわり」を通して育つものと考え、授業の中で意図的に聞く・話す機会を設けたり、ペアやグループによる対話等を取り入れたりしてきた。しかし、質的には十分とは言えないのが現状である。仲間とともに学び合う姿勢は確実に育まれてきてはいるものの、個々の考えを深めることにつながっていない場面も見られる。考えはあっても伝えることに抵抗感があったり、誰かが言ってくれるだろうと消極的になってしまったりする児童も少なくない。このような本校の児童に、理由や根拠を明確にしながら話す力や大切なことは何かを考えながら聴く力を身につけさせたい。そして、仲間とともに考えることよさを味わわせ、話し合うことで考えを深めたり広げたりできることに気づかせていきたい。そのためには、自分の考えを論理的に表現する力が必要になると考える。

また、思考し表現する力は、教師が一方向的に教え込んで身に付くものではない。児童自身が主体的に学習にのぞみ、その中で深く考えるような学習を通して育つものであろう。そのためには、一人一人の学習意欲を高め、「問題を解いてみたい」「自分の考えを伝えたい」「友達のことを聞いてみたい」と主体的に動き出すような、教材の開発や提示の工夫をしていくことが大切である。つまり、児童が自ら問いを持ち主体的に解決していく過程において、自然に論理的な思考力が働くものとする。目の前の児童の姿や思いを大切にしながら、授業改善に努めていきたい。

以上のことから、研究主題を「豊かな言語力を基盤とした思考力・表現力の育成」と設定する。